

校内における事故・外傷

～安全な場所に変えていくために～

1. 対象 第3学年

2. 授業設定の理由

子どもたちが生活する場では、いかなるところでも事故が発生する可能性がある。子どもたちは生活の中、遊びの中で、危ない思いや痛い経験をすることで学習し、危険予知能力や危険回避能力を身につけていく。その力は、小さな事故を防ぐだけでなく、いざという時、自分の命を守るためにも必要である。

子どもたちはとても活発で、好奇心旺盛な半面、体を動かして遊ぶ経験が少なくなっている。そのためか、自分の行動がどのような結果をもたらすのか、予測できずに事故を起こしている姿がよく見られる。ぶつかっただとしても、すぐに痛みはなくなるから気にしない、相手は泣いていなかったから大丈夫だ、と、経験を学習に変えることなく、再び同じことを繰り返す、時に大きなけがにもなる。校内での安全な過ごし方について、守らねばならないルールは、頭ではわかっているが、自分の意識の中に事故が想像できていないために、行動がともなわないのではないだろうか。

「けがの防止」に関しては、第5学年の保健で「交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止」として扱われている。重複する内容ではあるが、保健室来室者のほとんどが中学年であり、子どもたちの実態から考えると、危険予知能力や危険回避能力を身につけて、主体的に行動していくためには、系統立てて繰り返し学習をしていく必要があると考えた。今回の授業では、事故の起こる場面として、一番身近な校舎内にしぼり、授業を設定した。

3. 単元の目標

日常生活の中に潜むさまざまな危険を予測し、自他の安全に配慮して安全な行動をとるとともに、自ら危険な環境を改善することができるようになる。

4. 評価規準表

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
校内の安全に関心を持ち、過ごし方を意識して変えていこうという思いをもつことができる。	危険に気付いて安全な行動をとることや環境を整えることの大切さについて考えることができる。	校内での事故事例を学び、危険を予測して安全な行動をとる基盤を持つことができる。	事故の発生には、人的要因と環境要因が関係していることを理解することができる。

5. 指導計画（生活安全学習単元・全4時間）

第1次 校内で起こる事故 1時間（本時）

第2次 自分でできる環境改善 2時間

第3次 事故のない学校をつくるために 1時間

6. 本時について

(1) 目標

- 校舎内での事故の発生要因を理解する。〈知識〉
- 危険な行動や環境に対して、予知でき、回避する方法を考える。〈思考〉

(2) 展開

	児童の活動と意識の流れ	○指導上の留意点 ●評価の観点
かまえる	1. 来室者数のデータを見て、けがを減らしたいという意識を高める。	○2ヶ月間の、全校児童のけがの内訳グラフを提示し、けがの内容を知らせる。また、去年のデータと比較し、けがが増えていることを知り、問題意識を高める。
のぞむ	2. 事故の起こりやすそうな場所を地図上で見つける。 ・教室内 ・廊下の曲がり角 ・階段 ・狭くなっている場所	○校舎内の見取り図を見ながら、事故の起こりそうな場所を見つける。 ●普段の経験や、見取り図の構造から、事故多発地帯に気がつくことができている。〈知識〉
ひらく	3. 事故の起こる直前の写真を見ながら、事故の原因を分析していく。 ・走っている ・急いでいる ・広がって歩いている ・よそ見をしている ・ふざけている ・一段飛ばしでおりている 分析結果（人的要因）から、事故を減らすためのアイデアを出し合う。 ・注意して歩く ・時間に余裕をもつ ・見通しの悪い場所に気をつける ・人の迷惑にならないようにする	○校内での児童の姿を写真で客観的に見ることで、事故の原因を分析しやすいように工夫する。 ●自分が気をつけること、そして周りの人たちに伝える方法まで視野を広げて考えることができている。〈思考〉
ふかめる	4. 校舎内の写真を見ながら、事故を防ぐための設備的な工夫を見つける。（環境要因） ・曲がり角の植木 ・コーナーガード ・点状ブロック ・手すり ・柵 ・階段滑り止め 何のためにその工夫がなされているのか気付き、周囲の環境を変えていくことも事故防止に役立つことを知る。	○校舎内の写真を見ることで、事故の発生には、人的要因だけでなく、環境要因が関係していることに気付かせる。 ●校舎内の写真を見ながら、事故を防ぎたいという思いのこめられた工夫に守られていることに気がつく。〈思考〉 ○事故の起こりやすい環境があることも知らせ、自分たちでできる環境改善を知らせる。
ふりかえる	5. 校内の事故を減らすをめざすために、どんなことができるのか、考える。	○「3 東から附小のみんなにお願いしたいこと」として、事故を減らすためにできることをまとめる。 ○今日の授業の感想を書く。